

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●チャンピオンズカップはテーオーケインズが6馬身差で勝利

12月5日(日)に行われたチャンピオンズカップ(G I)ではテーオーケインズ(牡4歳/栗東・高柳大輔厩舎)が優勝しました。同馬は本年の帝王賞(大井・Jpn I)勝ち馬ですが、JRAのG Iは初挑戦初制覇。2着チュウウウイザードにつけた6馬身差は2001年クロフネ(当時はジャパンカップダート/東京ダート2100m)の7馬身差に次ぐ記録で、レース名がチャンピオンズカップ、コースが中京ダート1800mに変更された2014年以降では最大の着差となります。

●グランアレグリアの引退を中山競馬場で開催

11月21日(日)のマイルチャンピオンシップ(G I)で同レース連覇を果たし、近日中に競走馬登録の抹消が予定されているグランアレグリア(牝5歳/美浦・藤沢和雄厩舎)の引退式が、12月18日(土)、中山競馬場で実施されることとなりました。最終レース終了後の16時30分頃より芝コースで行われる予定です。

●オセアグレイトが故障

2020年スポーツニッポン賞ステイヤーズS(G II)の勝ち馬オセアグレイト(牡5歳/美浦・菊川正達厩舎)は、左前繋部浅屈腱炎を発症していることが判明しました。今後9か月以上の休養を要する見込みです。

●サトノインブレッサ、ワールドプレミアの競走馬登録抹消

2020年毎日杯(G III)の勝ち馬サトノインブレッサ(牡4歳/栗東・矢作芳人厩舎)は、11月18日(木)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は9戦3勝で、今後は種牡馬となる予定ですが、繋養先は未定です。2019年菊花賞(G I)および2021年天皇賞(春)(G I)の勝ち馬ワールドプレミア(牡5歳/栗東・友道康夫厩舎)は、11月25日(木)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は12戦4勝で、今後は北海道新冠町の優駿スタリオンステーションで種牡馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●チャンピオンズC(中京)に挑んだ船橋のカジノフォンテンは10着

チャンピオンズカップ(G I、12月5日、中京)に7番人気で出走したカジノフォンテン(船橋)は、好位の内を進んだものの直線失速し、10着に敗れています。

●南部駒賞は北海道のエイシンシュトルム【各地の主要2歳重賞】

南部駒賞(10月31日、盛岡、1600m)は、4番手から差を詰めた3番人気の北海道からの遠征馬エイシンシュトルム(牡、父エイシンヒカリ)が直線半ばで抜け出し、重賞初制覇を果たしました。エイシンシュトルムは、その後JRAに移籍しています。ラブミーチャン記念(10月28日、笠松、1600m、牝馬)は、4番手を進んだ2番人気の金沢所属馬エムティアンジェ(父マクフィ)が、逃げた1番人気のグラーツィア(北海道)を3コーナー過ぎに捉えて3馬身引き離し、金沢プリンセスCに次ぐ2度目の重賞制覇。高知デビュー馬限定戦の黒潮ジュニアチャンピオンシップ(10月31日、高知、1400m)は、先手を取ったマリンスカイ(牡、父グランプリボス)が後続に8馬身差を付けて圧勝、単勝1.1倍の支持に応えてデビュー以来の連勝を3に伸ばしています。

●セキフウらが参戦、12月15日の全日本2歳優駿(川崎)

全日本2歳優駿(Jpn I、12月15日、川崎、1600m)は、兵庫ジュニアグランプリ1、2着のセキフウ、コンパッション、JBC2歳優駿の覇者アイスジャイアント、ダートで2戦2勝のドライスタウトの4頭が拮抗しており、カイカノキセキは初のダートが課題となりそうです。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●ジャパンカップ5着馬グランドグローリーが250万円で落札

11月28日のG I ジャパンカップで5着に入ったフランスのグランドグローリー(牝5歳、父オリンピックグローリー)が12月4日、フランスで行われたアルカナ社のセールにおいて250万(約3億2750万円/1(1)131円で換算)で取り引きされました。フランスのウス牧場を率いるX. マリー氏のエージェントが落札したもので、今後は未定ですが、将来的には同牧場で繁殖入りする予定です。

●G1シガーマイルH~アメリカンレヴォリューションがG1初制覇

12月4日に米国ニューヨーク州のアケダクト競馬場で行われた、G1シガーマイルH(3歳上、ダート1600m)はL. サエス騎手が手綱を取ったアメリカンレヴォリューション(牡3歳、父コンスティチューション、T. プレッチャー厩舎)が差し切り勝ち。9月のG1ペンシルベニアダービーは3着でしたが、2度目のG1挑戦でG1タイトルを手に入れました。

●木村和士騎手がカナダ・ウッドバイン競馬場の首位騎手に輝く

木村和士騎手(22歳)がカナダのウッドバイン競馬場におけるリーディングジョッキーに日本人として初めて輝きました。木村騎手は今年6月12日のシーズスタートから12月5日の閉幕までにG3・3勝を含む138勝。2位に54勝もの大差をつけての戴冠でした。